



2026 年 8 月 12 日

スターバックス日本上陸 30 周年企画の最終章がスタート
“その瞬間を手描きの絵にして、記憶のひとコマへ”
お客様とパートナー、30 年のつながりに感謝を込めたスペシャルムービーを公開

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社(本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者 CEO: 森井 久恵)は日本上陸 30 周年企画の最終章を飾るスペシャルムービー「スターバックス 30 周年ブランドムービー」を本日 2026 年 8 月 12 日(水)より公開します。

ちょうど 30 年前、1996 年 8 月 2 日の朝、日本上陸 1 号店の「スターバックス コーヒー 銀座松屋通り店」の扉を開けた瞬間から始まった、お客様とスターバックスとのつながりの瞬間の数々を、30 年分の感謝の気持ちとともにお届けするムービーです。毎朝のコーヒールーティンや、嬉しいことがあった特別な日、そして誰かに慰めて欲しいような帰り道など、スターバックスに訪れるお客様は様々ですが、パートナー(従業員)はいつも笑顔でお客様をお迎えし、ちょっとした会話にも思い込めてきました。きっと、みなさんの記憶の中にもあるような、そんなスターバックスでのシーンをオムニバス形式にまとめました。

「スターバックス 30 周年ブランドムービー」公開 URL:

<https://www.youtube.com/watch?v=D59Luus8H0o&feature=youtu.be>

「30 年間、店舗で交わされてきた何気ない会話の一つひとつが、私たちの一番の財産です。このムービーを通じて、お客様一人おひとりの記憶の中にあるスターバックスでの時間を、改めて思い出していただけたら嬉しいです」(森井 CEO コメント) ぜひ、みなさんの記憶の中にあるスターバックスでの体験を振り返りながら、好きなビバレッジを片手にお楽しみください。



◆ 約 30 億回の「こんにちは」と「ありがとうございます」の傍らにあったそれぞれのストーリー

日本上陸から 30 年。現在では、日本全国 47 都道府県に約 2,100 店舗を展開し、約 6 万人のパートナーが日々お客様を店舗でお迎えしています。日本でのスターバックスのコーヒージャーニーは、新しいコーヒー文化を日本全国

に広めて行く旅でした。以前、コーヒーは自宅やお店で座って飲むものでしたが、白いカップにたっぷり入ったラテやカプチーノといったエスプレッソビバレッジを片手にお出かけ先などで自由に楽しむという、まったく新しいコーヒースタイルが浸透し、いまではみなさんの毎日の様々なシーンに寄り添う存在へとたどり着きました。そして、これまでに約 30 億回の「こんにちは」と「ありがとうございます」の声とともにお客様とパートナーのつながりのストーリーがありました。

今回制作したスペシャルムービーは、お客様から寄せていただいたコメントやパートナーたちへのヒアリングから見つけた、素敵な出来事をもとに、オムニバス形式のムービーに仕上げています。多くのみなさんが同じような経験を見つけていただけることを期待するとともに、このムービーをきっかけに、忘れていたスターバックスでのあの日の出来事や、「自分たちにもこんなことがあったねと語らう、素敵なひと時につながればという想いも込めています。

◆ 日本の CM 業界の第一線で活躍するクリエイターチームが手掛けたこだわりのハンドクラフトなムービー

スペシャルムービーの制作においては、これまでにないこだわりをもって作り上げました。実写で撮影した映像をベースに絵として描く手法に挑戦。実写映像の撮影には、スターバックス店舗のバリスタたちも参加し、日ごろからお客様と交わす笑顔やまなざしをリアル感たっぷりに表現しました。スターバックスといえば手書きのチョークボードを思い出す方も多いことから、あえて実写の映像ではなく手で描いた絵画の連なりのように仕上げた、他にはないハンドクラフトな温かいムービーが出来上がりました。

このムービーを手掛けてくださったのは、日本の CM 業界の第一線で活躍するクリエイターチームです。CM という領域を超えて、ひとつの物語として人々の記憶と心に残る一本を世に送り出し続けてきた、日本が誇る方々の手によって丁寧に作られています。

総合ディレクターには、中島信也氏を招聘しました。中島氏は 1982 年に東北新社に入社し、以来、数多くの CM 制作に携わってきました。カンヌライオンズ、東京 ADC 賞、ACC 賞、ニューヨーク ADC 賞など国内外の広告賞を多数受賞しているほか、武蔵野美術大学の客員教授も務めています。手掛けられた CM は、まるで一本の映画を観ているような感動をよんだり、スケールの大きさとユーモアが常に人々の話題となってきました。

そして、アートディレクターには、八木秀人氏が手掛けました。八木氏は 2001 年に多摩美術大学グラフィックデザイン学科を卒業後、アートディレクター、クリエイティブディレクター、アーティストとして活動し、2018 年には Hand Inc. を設立しています。東京 ADC 賞、ニューヨーク ADC 賞、カンヌライオンズ、D&AD など、国内外の広告賞を多数受賞してきました。今回は実写映像をベースにペイントを施し、実写とは異なるユニークな世界を作り上げています。

そして、このムービーに使われている楽曲は、シンガーソングライターの熊木杏里さんに手掛けていただいたオリジナルソング。ムービー制作にむけてお話したスターバックスの数々のストーリーの中から中島氏が詩を作り、熊木さんが曲を付け、唯一無二の歌声をのせてくださっています。

実写映像の撮影の裏側、八木氏がペイントを施す様子などをおさめた「スターバックス 30 周年ブランドムービー Behind the scenes」もお楽しみいただけます。

「スターバックス 30 周年ブランドムービー Behind the scenes」公開 URL:

https://www.youtube.com/watch?v=y0YWWsTB2_k

< 撮影の裏側 >



【公開概要】

- ・タイトル:「スターバックス 30 周年ブランドムービー」
- ・公開日:2026 年 8 月 12 日(水)
- ・URL:<https://www.youtube.com/watch?v=D59Luus8H0o&feature=youtu.be>
- ・総合ディレクター: 中島信也 (なかじましんやオフィス)
- ・アートディレクター: 八木秀人 (Hand Inc.)
- ・プロデューサー: 三井 美和(なかじましんやオフィス)
池口 紀子(Hand Inc.)
- ・ミュージック アーティスト:熊木 杏里



中島信也

CM ディレクター／株式会社東北新社クリエイティブ・アドバイザー

武蔵野美術大学客教授 東京 ADC 会員

1959 年福岡県生まれ大阪育ちの江戸っ子。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。日清食品「hungry?」(カンヌグランプリ)、サントリー「燃焼系アミノ式」(ACC グランプリ)他受賞多数。

AirPAY「オダギリジョー」ほか演出 43 年目にして現在も第一線で活躍中。

コメント:

八木秀人さんからお声がけをいただいて、スターバックスのチームの皆さんとお会いするまで僕にとってスターバックスは「アメリカからやってきたなんだか遠い存在」でした。

でもチームの皆さんから「この 30 年の間ずっとみんなと素敵な時間と空間を作ろうとしてきた」というスターバックスの姿勢を知ることができ、「30 年の積み重ねを伝えられる心が温まるムービーを作りたい」という八木さんの思いに心から賛同できるようになりました。

そこで僕は 30 年間お客様と出会い続けているサイレンの眼差しをテーマにできないだろうか、と思いました。すぐに詩を書いて、この思いを歌ってもらうのはこの人以外いない、と熊木杏里さんをお願いして曲をつけていただき心を込めて歌ってもらいました。まず丁寧に実写で撮影をし、それを下敷きに八木さんのチームの無限の手描きドローイングによって、素晴らしいムービーが完成しました。

このムービーからみんなが何かを感じていただき、みんなとスターバックスの心の距離が少しでも近づいてくれたら、と心から願っています。



八木 秀人

アートディレクター／クリエイティブディレクター／Hand Inc.代表

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業後は、マクキヤンエリクソン、電通とキャリアを積み、2018 年 Hand Inc.設立。人の手から生まれるクリエイティブを大切に、デザインとアートを軸に活動を開始。現在では広告やデザインの仕事を軸に、メッセージ性のあるアートを制作するアーティストとしても活動。

JAGDA 新人賞、東京 ADC、ニューヨーク ADC、カンヌライオンズ、D&AD など多数受賞。

コメント：

昔からスターバックスが大好きで、街で見かけると反射的にお店に入る毎日を送っているうちに、いつかお仕事をしたいと夢見ていました。今回の30周年ムービーは、まさにそんな自分の夢が叶った作品です。社内のチーム全員で毎日絵を描き、とても大変な作業でしたが、楽しく充実した毎日を送ることができました。今回の作品を作ることになった出会いも、完成するまでの経過も、きっとサイレンが導いてくれたのだと思います。サイレン様、ありがとうございました！



熊木 杏里

2002 年 2 月 21 日シングル『窓絵』でバップよりメジャーデビュー。翌年 1st アルバム『殺風景』をリリース。その後、中島信也監督の資生堂企業 CM で「新しい私になって」が使用され話題となる。YTV「かんさい情報ネット Ten！」のコーナー「めばえ」のテーマ曲「誕生日」は、長年にわたり使用され今も話題となっている。

2025 年 12 月から始まったライブシリーズ「クマキナリ」のスペシャルライブが 2026 年 9 月 12 日(土)神田明神ホールにて実施予定。2027 年にはデビュー 25 周年を迎える。

コメント：

中島監督から「名作を作りたい」とお誘い頂いた「新しい私になって」から、20 年。コロナ禍での気付きを歌った「いのち輝く」に続き中島監督の言葉は、今回も温かで優しくかった。バリスタさんたちの合言葉の様でもある「それからね」というワードを切り口に、目の前にいる人に寄り添い語りかけてくれる。私にも想う人たちがいる。誰かが必ず見守っている。そんな気持ちが届きますように。

◆ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996 年に東京・銀座に日本第 1 号店を開業。全世界 80 を超えるマーケットで約 40,000 店舗以上、日本全国 47 都道府県において 2,116 店舗（2026 年 3 月末時点、ライセンス店舗を含む）のコーヒーストアを展開しております。約 6 万人のパートナー（従業員）が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたまるひとときを提供しております。2019 年 2 月 28 日には、世界 5 拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「[STARBUCKS STORIES JAPAN](#)」で紹介しております。